

Shinsyu Orange SUMMIT 2026



信州オレンジサミット2026

in 松本

希望は、人と人の間に生まれる
認知症になっても自分らしく暮らせるまちへ

参加費
無料

定員
130名

2026年9月27日(日) 13:00~16:00 (12:40開場)
ホテルブエナビスタ(長野県松本市本庄1-2-1)

認知症になっても、自分らしく暮らせるまちへ。認知症基本法の理念を手がかりに、
本人・家族・支援者・市民が出会い、語り、長野から希望のかたちを考えます。

粟田主一 Shuichi Awata

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター／認知症未来社会創造センター センター長特任補佐
社会福祉法人 浴風会 認知症介護研究・研修東京センター センター長

1984年、山形大学医学部卒業。2001年、東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野助教授。2005年、
仙台市立病院神経科精神科部長兼認知症疾患センター部長/東北大学医学部公衆衛生学非常勤講師(兼任)。
2009年、東京都健康長寿医療センター研究所、自立促進と介護予防研究チーム研究部長。2013年、東京都
健康長寿医療センター/認知症疾患医療センター長(兼任)。2015年、東京都健康長寿医療センター 認知症
支援推進センター長(兼任)。2020年より現職。



タイムスケジュール

12:40 開場
13:00 オープニング 主催挨拶
13:05 みなさんの長野ですでに起こっている事

▼「行きたい」の一言がチームを動かした



若年性認知症・要介護4・車椅子。
オレンジドア長野の元委員長病気が進行し、
複雑な判断が難くなった今年、家族の
問いかけに一延さんははっきりと答えました。
「好きなミュージシャンのコンサートに行きたい」
その一言が、連鎖を生んだ。

▼「自転車で13km、自分の場所へ」

就労中に若年性認知症を発症。
会社の配慮のもと5年間働き続け、退職。
退職後に多くの人が経験する「空白の期間」
—することがない、どこにも行けない—を経験
していません。就労中から本人ミーティングに参加し、
仲間とのつながりを積み上げてきたからです。



13:50 講演 基本法は「答え合わせ」
粟田先生が、私たちの身の回りの
認知症への関りを答え合わせ
として詳しく解説していただきます。

14:50 —休憩—

15:00 パネルディスカッション
▼本人、家族、支援者、
会場が一体となった話し合い

15:45 終了

お問合せ・
お申し込み

信州オレンジサミット2026 実行委員会

TEL: 090-4152-2434
Mail: nozomi@ca.wakwak.com

▼申し込みは専用フォームから

<https://forms.gle/UtJyUoy54yFNr3iN6>



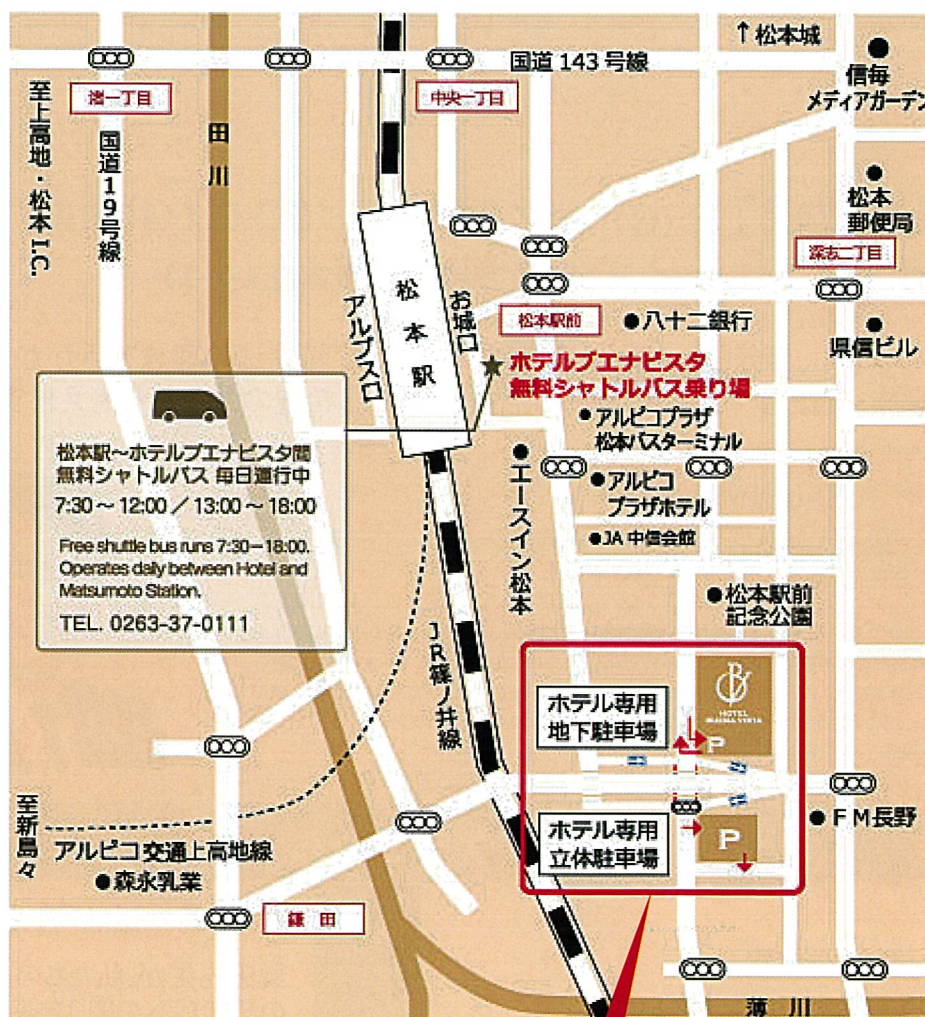
主催 信州オレンジサミット2026 実行委員会

共催 松本市／認知症のひとと家族の会長野県支部／長野県作業療法士会／(長野県若年性認知症支援Co.)

後援 松本市認知症施策推進協議会／長野県／長野県介護福祉士会／厚生労働省／松本市在宅医療・介護連携委員会

会場MAP

ホテルブエナビスタ (長野県松本市本庄 1-2-1)



※駐車場台数に限りがありますので、公共交通機関の利用にご協力をお願いします。



駐車場地図